＊リーダーシップバッジへの取り組みに望むこと

・リーダーシップバッジはリーダーになっても着用できるバッジのため、取得したレンジャースカウトには後輩スカウト達の良きロールモデルとなってほしいと考えています。
・このバッジにチャレンジすることで、プロジェクトマネージメントを学び、その後の学生生活や社会に出てからも役立てることができます。

また、この実習を通して緩やかにリーダーへの道へと導く種まきにむすびつきます。

＊提出書類について

① 日本連盟のオンラインプログラムを受講し、修了証をプリントする。
② 実習を２回行う。
＜実習内容として…＞
・リーダーシップを取っていること。
集会を実習とする場合、自分が主となって活動を行うこと。
・GS 活動とは限らず、コミュニティー、学校での活動でも可能。
例：CC21 でのレンジャーの参加方法、事業の実行委員など
＜提出書類について：★の内容を記載すること＞
・いつ、どこで、何をやったのかを、誰が見ても分かる記録をレポートとして作成する。
★表紙
★目次を付ける
★リーダーシップバッジを取得しようと思った理由
実習２回分の記録を作成する（1 回分ずつまとめる）
★企画書　フォーマットを参照
★実習記録
・当日の計画書　フォーマットを参照
・アドバイスをもらったリーダーのコメントや改善した経緯がわかるように記載
・当日の写真（何をしているかの説明を入れる）
・作成したものを添付（紙芝居やクラフト、説明に使ったもの等）
・参加者（実習先）からの感想入れる
・担当リーダー（部門リーダー）・関わった方からの評価をもらう
・実習を終えて自分のふりかえり、感想を入れる
★リーダーシップバッジに挑戦して、自分の感想を入れる

＊今年度のリーダーシップバッジ担当トレイナーは丹羽加代子ガールスカウトトレイナーです。（携帯番号　０９０－２４２７－５４３２）
記録作成で不明なことがありましたら、トレイナーにご相談ください。
＊トレイナーがアドバイスの為に出向いた場合の交通費は団にてご負担願います。